

検討委員会等からの主な意見

V めざす姿について

●基本コンセプト

「市民及び生産者の需要に合う」卸売市場を目指すことが重要

●基本目標

卸売市場が「生鮮食料品の基幹的な流通拠点」として、社会的インフラに位置づけることが必要

VI 基本方策に関する意見について

(1) 情報発信

- ・ SNSや動画の活用等の推進は、得意な人材の確保が課題
- ・ 道の駅くるめの活用（大屋根広場など）
- ・ 関係者に必要な内容のホームページ掲載等

(2) 市場の活性化

- ・ 市場の一般開放は市場に入りやすい雰囲気づくりに期待する（人の確保が課題）

(3) 集荷力・販売力強化

- ・ 市場ブランド（青果部）、漁協等の生産者ブランド（水産物部）のPR（のぼり旗、POP等販促用アイテム）
- ・ 農業生産者や小売店向けのセールス活動
- ・ 集荷から販売先までの流通確立
- ・ 生産者の掘り起こし、味や品質等の差別化（数値化、見える化が難しい）
- ・ 食品の安全性、品質、鮮度などの向上に対する取り組み等（イメージ向上も）
- ・ 安全な商品に関するニーズへの対応

(4) 施設の長寿命化

- ・ 項目名を施設整備に変更し、市場施設の有効活用も含め一体的に運用した方がよい
- ・ 関連棟空き店舗の活用

VII 達成指標に関する意見について

- ・ 一般消費者の市場認知度向上を目指すためには、生鮮食料品流通関係者、特に小売店の市場認知度向上が最も重要